

# 町内12団体に600本 石川の仲田種苗園が寄贈

## ツツジで町に彩りを

# 郡山・泉南



加納町長にツツジを託す仲田代表取締役(右)

石川町の仲田種苗園は三日から七日まで、町内の民間の十二団体に、ツツジを合計六百本寄贈している。町の魅力を高めるため、町役場を通じて各団体の希望を募った。四日は町内の同社沢田農場で引き渡し式を行った。

寄贈しているのは白い花が咲く琉球(りゅうきゅう)ツツジ三百本と赤い花が咲く霧島ツツジ三百本。花などを植え地域を彩る活動をしている団体が多い

ことを知り、各団体の活動を後押しして町おこしにつなげようと、寄贈することにした。ツツジ六百本は販売価格で百八十万円ほどになるという。

引き渡し式では仲田茂司代表取締役が加納武夫町長にツツジを託した。加納町長が町内のJR磐城石川駅周辺の整備に取り組んでいる花見ヶ丘をつくる会の丹内春夫会長に琉球ツツジと霧島ツツジを五十本ずつ伝達した。ツツジは六月前後に見頃を迎える。

仲田代表取締役は「各地区の団体が花木の植栽で町おこしをしている。各地区の活動が結びつけば町の魅力アップにつながる」と話している。